

# (お 知 ら せ)



平成 23 年 3 月 4 日  
日本原子力発電株式会社

## 敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

### 1. 運転状況について（3月4日現在）

（ ）内は定格電気出力

1 号 機 沸騰水型（35万7千kW）	第33回定期検査中 定期検査の工程表は別紙1のとおり
2 号 機 加圧水型（116万kW）	運転中

### 2. 故障等の状況について（平成23年2月5日～平成23年3月4日）

#### （1）法律に基づく報告事象

なし

#### （2）安全協定に基づく異常時報告事象

なし

#### （3）保全品質情報等

なし

### 3. 敦賀発電所3, 4号機 準備工事について（3月4日現在）

#### （1）建設準備工事

現在、原子炉建屋背後斜面の追加切取工事、原子炉背面道路（構台）工事、止水壁の構築工事、中央溪流砂防堰堤工事等を行っています。

#### （2）仮設工事関係

現在、浦底湾側において、本体工事で必要となる仮設用地の造成工事を継続すると共に、仮設用地内にてコンクリートプラント設備の設置工事を行っています。

#### 4. その他

##### (1) ベトナム ニン・トゥアン省知事の敦賀発電所3, 4号機建設現場ご視察

平成23年2月28日、ベトナムの原子力発電導入計画推進の一環として、発電所立地地点の自治体（ニン・トゥアン省）の知事を団長とするミッションが敦賀発電所3, 4号機建設地点をご視察されました。

（別紙2参照）

##### (2) 敦賀発電所2号機 ベーラー建屋における発煙について

平成23年2月16日10時07分、2号機ベーラー建屋<sup>※1</sup>（管理区域）の火災警報が発報し、ベーラー建屋内で使用中の掃除機から発煙を確認したため、作業員が消火器等により対応しました。

10時14分に消防署へ通報し、12時20分に本事象は火災ではないと公設消防により判断されました。

本事象による負傷者はなく、周辺環境への放射能の影響もありませんでした。

※1：ベーラー建屋：発電所管理区域内で発生する雑固体（ポリシート、金属等）の仕分けやドラム缶等に詰める作業を行うための建屋。

（平成23年2月16日ホームページお知らせ済）

##### (3) 敦賀発電所における高圧ガス保安法に基づく工事の手続き漏れについて

当社は、敦賀発電所2号機の発電機付属設備の弁の取り替え時に、高圧ガス保安法に基づく工事の許可申請<sup>※</sup>漏れが9件あることを確認し、2月4日、福井県へ報告しました。

これら許可申請漏れがあった設備については、2月9日までに必要な手続きを終えました。

また、2月10日、福井県より、高圧ガス保安法に違反しているとして、嚴重注意を受けるとともに3月10日までに再発防止対策を報告するよう指示文書を受領しました。

※：高圧ガス保安法第19条1項に基づき、高圧ガス保安法で定める設備の工事を実施する場合（軽微な変更工事を除く）は、都道府県知事の許可を事前に受ける必要がある。

（平成23年2月4日、10日ホームページお知らせ済）

この指示文書に基づき、再発防止対策を取りまとめ、本日、福井県へ報告いたしました。

##### 1) 推定原因

調査結果、以下の原因により高圧ガス保安法に基づく手続きを実施しなかったものと推定しました。

①社内規程では、高圧ガス保安法に係る記載事項が具体的でなく、手続きの要否のみとなっていたことから、電気事業法での取り扱いと同様に、同一仕様品への取り替えは高圧ガス保安法でも手続きが不要と誤った判断をしていました。

②当該弁の取り替えを行った担当部署において、高圧ガス保安法の手続きに関する認識が不足していました。

## 2) 再発防止対策

①社内規程の「チェックシート」に高圧ガス保安法の手続きに関する具体的な事項を明示して、手続きの要否が的確に判断できるようにします。

また、高圧ガス保安法に係る全ての工事に関し、管理者の確認を得ることとします。

②高圧ガス関連設備を管理、取り扱う所員に対して、今回の事例を周知するとともに高圧ガス保安法の手続きに関する教育を行ないました。

さらに再発防止対策を確実なものとするため、高圧ガス保安法に係る工事に関し、専門知識を有する外部機関等を活用し、手続きの要否等について確認を行うとともに、高圧ガス保安法の手続きに関する関係者の理解向上を図ります。

(本日ホームページお知らせ)

## (4) げんでんふれあいギャラリー

<個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。>

### 1) 関 松鯉 写真展 『ふるさと』失われ行くふるさとをフィルムに残して

[退職を機に全国のふるさとを回って風景写真を撮影されている関 松鯉様の個展です。人口減少により年々過疎化が進んでおり、そうした人々の生活のにおいのするふるさとの写真を35点展示しています。] (3/1~3/13)

### 2) カリコール絵画展 夢をかたちに ~すばらしい仲間たち~

[敦賀市生涯学習センター自主学习教室に所属する洋画教室「カリコール」(代表:増田 貢一様)の皆様による絵画作品展です。毎週水曜日に西公民館で活動されております。油彩、水彩、パステル、鉛筆デッサン等の作品を約30点展示予定です。] (3/15~3/27)

### 3) 「敦賀・池河内」写真展

[昨年「敦賀・池河内」の写真集を出版された吉田 俊雄様の個展です。敦賀市池河内湿原及びその周辺の四季の表情と自然と人の係わりについての写真を32点展示予定です。] (3/29~4/10)

## (5) 次世代層等への教育支援活動関連イベント

<次世代層等への環境・エネルギー等に関する教育支援活動として、以下の事業を実施します。>

“げん丸塾” 星空観察と科学の不思議、体験の旅

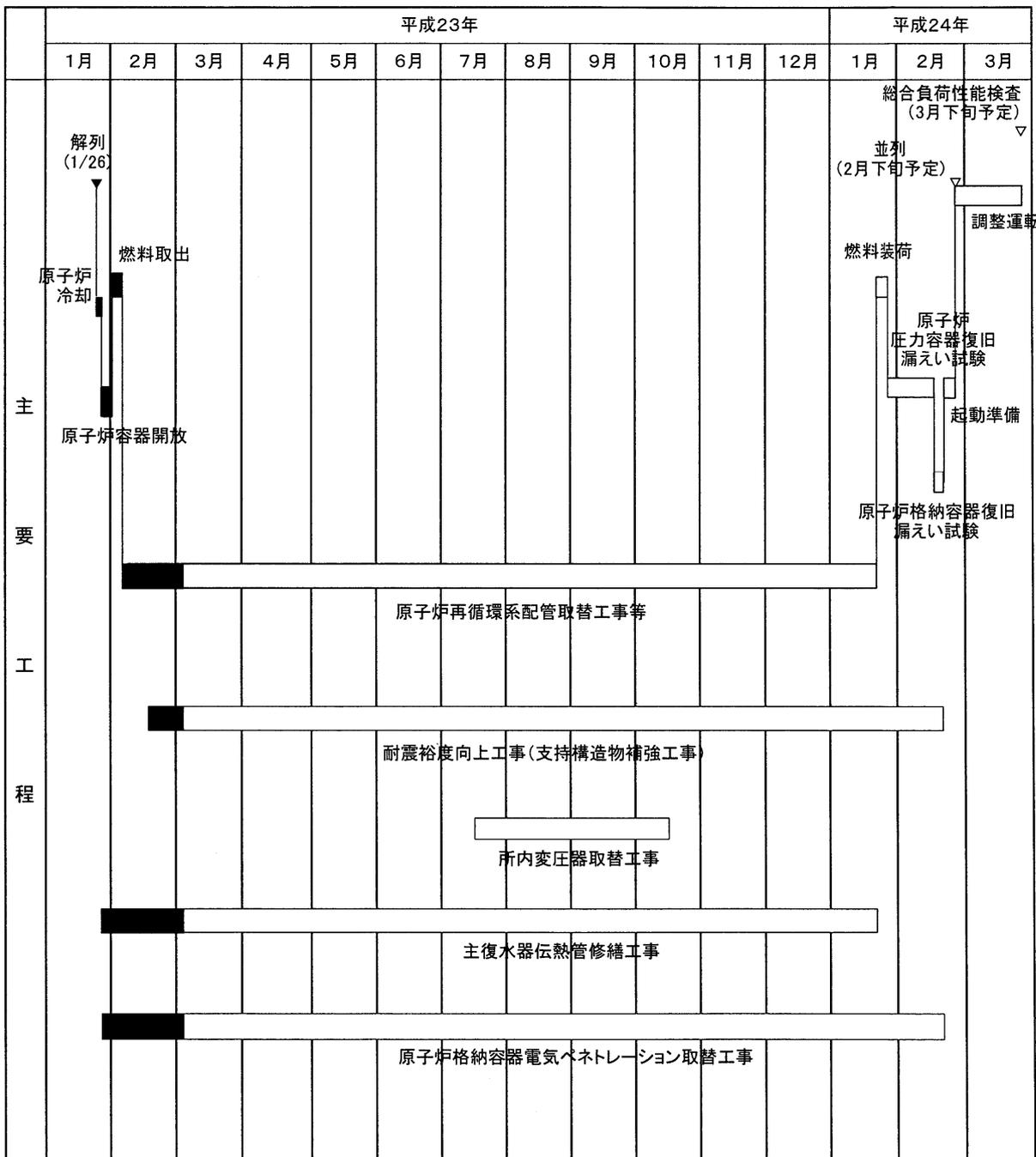
対象：げん丸塾生（会員制）

会場：西はりま天文台公園（兵庫県）、大阪市立科学館（大阪府）

日程：3月29日（火）～30日（水）（1泊2日）

以上

敦賀発電所1号機 第33回定期検査工程表



ベトナム ニントゥアン省知事ミッション  
敦賀発電所3, 4号機建設現場ご視察について

## 1. 概要

一般財団法人原子力国際協力センター（JICC）は、2008年5月15日に署名された日本経済産業省-ベトナム商工省間の原子力分野における協力文書(Memorandum of Cooperation)の枠組みに基づき、同発電所サイト立地地点の自治体の知事であるグエン・チ・ズン：ニントゥアン省人民委員会委員長（首相特使）を団長とするミッションを招聘することとなり、今般、JICCより当社に対し、本ミッションのメンバーに建設準備中の敦賀発電所3,4号機の建設現場を視察させて頂きたいとの依頼があった。

招聘の目的は、JICCが今回のミッション関係者に対して、日本政府や日本側原子力関係者との意見交換、原子力関連施設の訪問等を通じ、日本の原子力発電の現状に対する理解を促進するとともに、日本の原子力発電の安全性・先進性をアピールすることにより、同国並びに同自治体の今後の原子力発電計画の推進に寄与することにある。

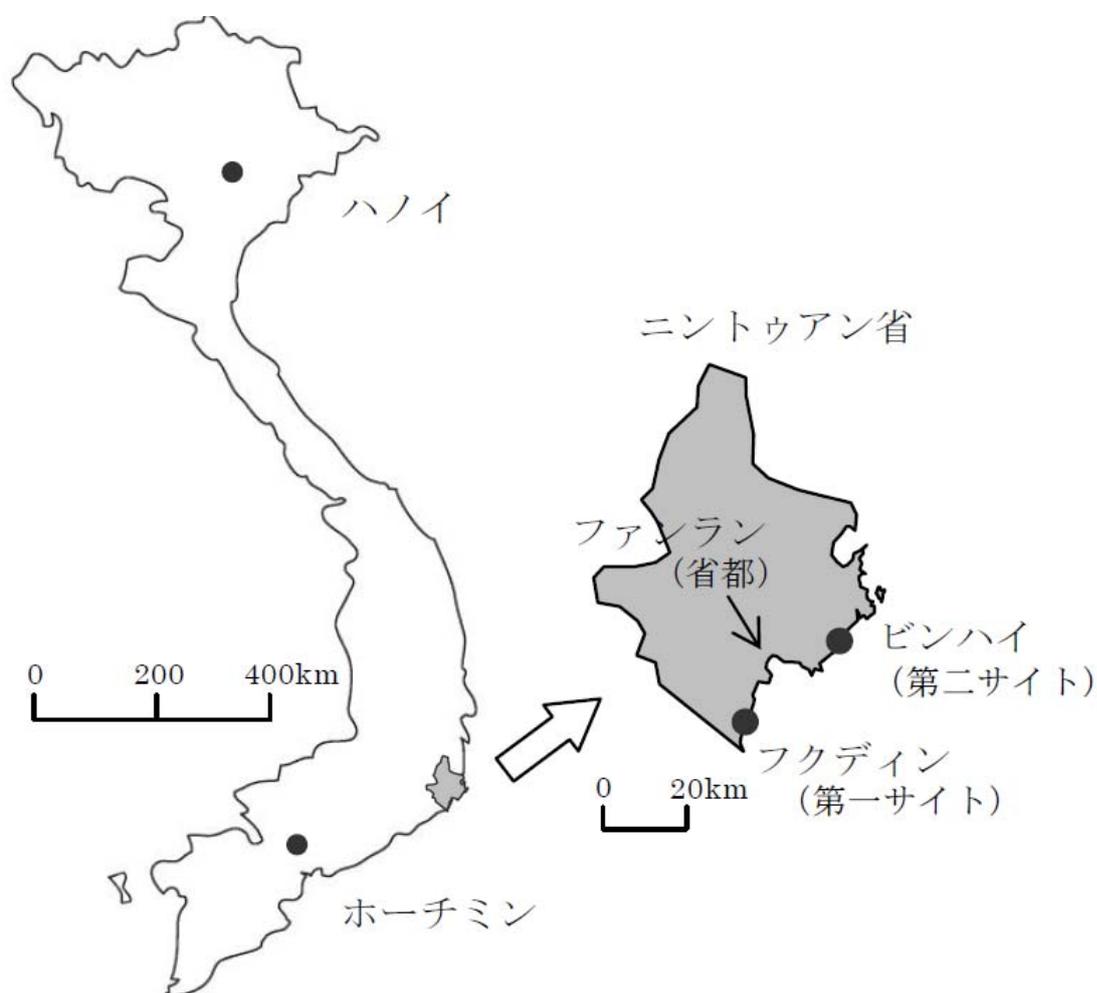
ベトナムの原子力発電プロジェクトのうち、第2サイト(2基)については、2010年10月31日の日越首脳会談において、日本がパートナーとして選定され、当社は、経済産業省より日本側の「導入可能性調査（FS）」の実施主体として、早期にFSを開始するように要請されている。

以上を踏まえ、当社および日本の原子力事情について理解を促すため、本ミッションを受け入れた。

## 2. 視察者

視 察 者 名	役 職
グエン・チ・ズン Dr. Nguyen Chi Dung	ニントゥアン省 人民委員会委員長(知事) / 首相特使 (団長/Head of the Delegation)
グエン・クアン Mr. Nguyen Quan	科学技術省 副大臣
チャン・スアン・ホア Mr. Tran Xuan Hoa	ニントゥアン省人民委員会 副委員長(副知事)
ズオン・クアン・タイン Dr. Duong Quang Thanh	ベトナム電力公社（EVN）副社長
グエン・ホアイ・ナム Mr. Nguyen Hoai Nam	ズン知事秘書

## ○ベトナムの原子力発電所建設候補地



## ○ベトナムの基本情報および日本との比較

表 ベトナムの基本情報（日本との比較）

	面積 (万 km <sup>2</sup> )	人口 (万人)	GDP (億ドル)	発電設備容量 (万 kW)	総供給電力量 (100 万 kWh)
ベトナム	32.92	8,579 (2009 年 4 月)	1,015 (2010 年)	1,567 (2009 年末)	74,200 (2009 年)
日本	37.78	12,581 (2010 年)	53,984 (2010 年)	20,397 (2009 年度)	906,849 (2009 年度)

出所 各種資料を参考に作成

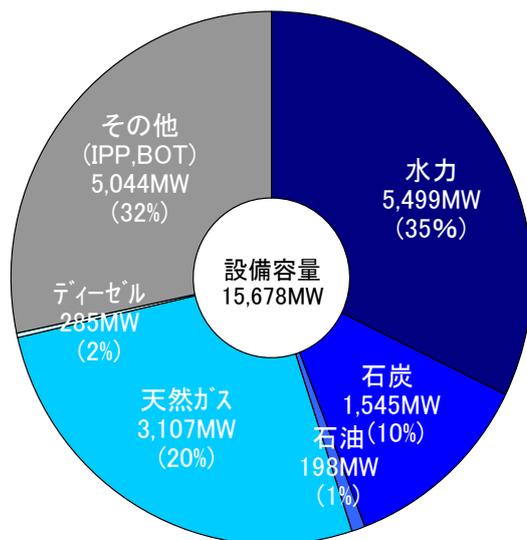
## ○ベトナムの電力事情

2008年におけるベトナムの年間電力消費量は約742億kWhであった。

同国では、発電設備の約7割をベトナム電力公社（EVN）が所有し、残りはIPP（独立系発電事業者）等から購入している。

電源構成は図に示すとおり、合計発電設備容量は1,567.8万kWであり、水力が設備全体の約35%を占める。

図 ベトナムにおける電源設備構成



出典 EVN Corporate Profile 2008-2009

## ○ベトナムの電力需給見通し

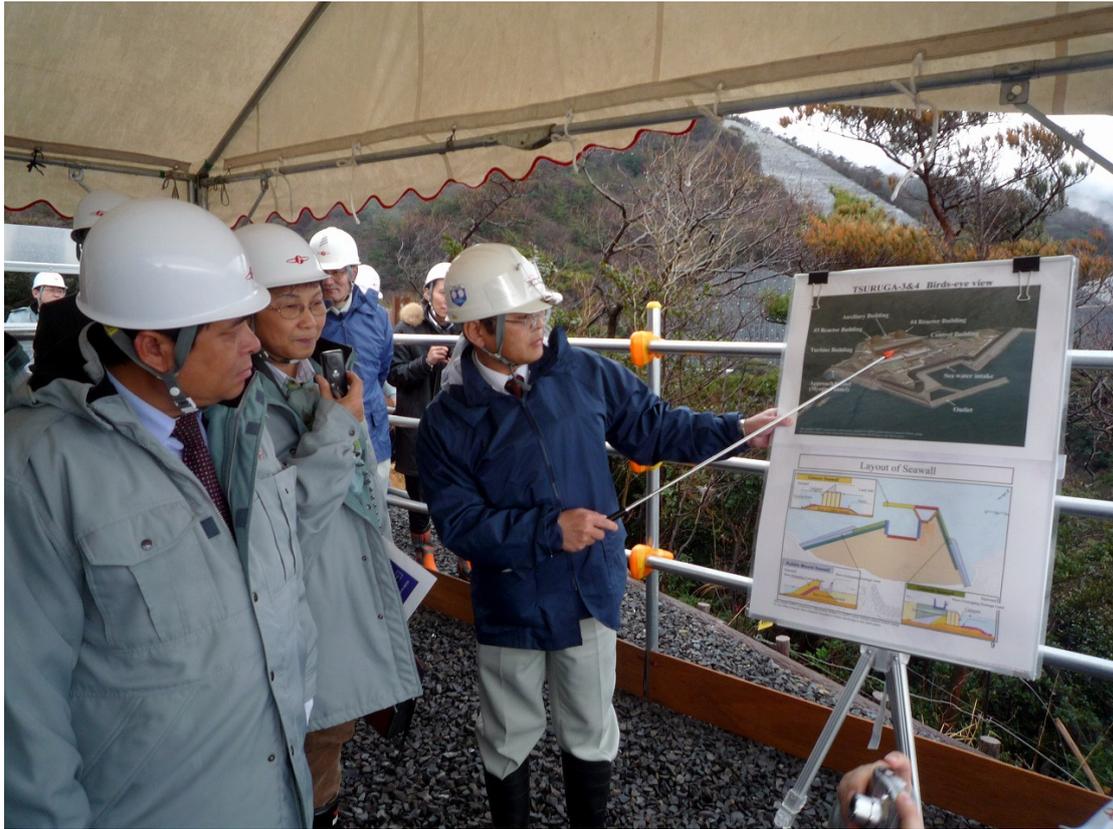
ベトナムでは、2007年7月に「第6次マスタープラン」（2008年に見直し）が首相により承認された。これによれば、2020年には、2005年に対して販売電力量ベースで約10倍に達することが予想されている（表 参照）。

表 第6次国家電力開発マスタープランによる電力需要予測（2008年修正）

年	電力需要量（予測）[kWh]
2005年	534億（実績値） [参考：2008年は約742億]（同）
2020年	4,300～5,180億
2030年	8,180～10,340億

出典 日本原子力産業協会 web site・他

<敦賀3，4号機建設現場ご視察>



グエン・チ・ズン ニントゥアン省知事（左端）へ準備工事状況等のご説明



ミッションご一行及び当社説明者

右から4人目：グエン・チ・ズン ニントゥアン省知事

右から3人目：当社 森本浩志社長